

団長の独り言

7月17日(日)「まだ課題は多い…」

観測史上もっとも早い？梅雨明けをしたはずなのに、ここ最近、ずーっと雨…雨…雨。

その雨は、劇団ふぁんハウスのある土曜日、日曜日も「ザーザー」「シトシト」と降っておりまして、そんな中でも劇団ふぁんハウス・ファミリーの皆さんは、陰気な戻り梅雨をも吹っ飛ばす、明るい笑顔で稽古場に集まってくる。

笑顔はいい。しかめっ面は良くない。悔しい事、悲しい事、苦しい事等があるにせよ、そんなものは稽古場の扉の外に置いておいて、「芝居の稽古」が出来る事に感謝をしなきゃ！と気合を入れ、昨日も今日も充実した稽古を行った。

まずは昨日の土曜日。いつもなら、まず歌、踊り、殺陣の訓練をやった後、芝居の輪郭を決める立ち稽古を行ってきたのだが、この日は稽古時間全てを使って、最初から最後までみっちりじっくりと、徹底的に芝居のみの稽古を行った。

本来の稽古スケジュールでは、6月・7月は歌やダンス、そして殺陣というエンターテインメント部分の稽古を中心に行うという事になっていたのだが、先日、脚本の設定等を大幅に変更したので、その変更箇

所に沿っての芝居をキチンと作り上げたいと思ひ、昨日の稽古では、とにかく「歌」「ダンス」「殺陣」を行ひ、それから「歌」いざ演じてもらおうと、レベルの高い役者達の芝居がとて心地良く、私の創造意欲をさらに掻き立ててくれたので、細かく細かくシーンを作り上げたくなり、それに伴ひ「BGM」をどのタイミングで入れるのか？という事も決めたくなつた。

ただBGMを入れる箇所つてのが、今回はなかなか難しくてね…。アマティーは、毎回芝居に寄り添つた素敵なBGMをうまく入れてくれるのだが、今回は、とあるシーンでのBGMを効果的に入れるタイミングが、ずっとイメージ出来ないままだった。

まあでもね、本番は来年の2月だし、今はまだBGMは固めなくてもいいかな？と思つていたのだが、この日の気迫ある皆さんの本気の芝居を見てるとつい熱くなつてしまひ、「とあるシーンのBGM」を入れるタイミングも決めたくなり、アマティーに様々な箇所を何度か何度も指摘しつつ、曲調もその都度変えてもらひながら、役者のセリフを聴き、「ここだ」つてピンつて来たタイミングを決めて、BGMを入れて皆さんに演じて貰うと、「お！いいじゃないですかあ！」つてな感じ。

他にも、私、平野恒雄が演じる「ホテルの買収王・中沢」と、萱場まり恵さん演じる「高山芸術座の新入り・香」との二人芝居でのシーンでも、最初はお互ひに探り探り演じていたのが、何度となく繰り返していくと、どんどんといひ感じになつていくので、このシーンも、かなりの時間を割いて二人の芝居を固めるべく、何度も繰り返す。

こんな感じで稽古を進めていくと、結局3時間半、全て芝居の稽古となり、歌やダンスや立ち回りの特訓は行ふ事が出来ず、稽古は終了となる。

しかし、久々に芝居の稽古をガッツリ行つたので、それはそれで充実した稽古となった。

翌日曜日。

たまに「ザー！」と雨が降つたかと思へば晴れ間も出て、おかげでかなりジメジメと湿気の多い日。それでもありがたい事に稽古場の冷房はよく効いていて部屋の中は快適。そんな中、本日の稽古は、昨日出来なかつたエンターテインメント部分の特訓から。

まずは歌。

1コーラス目は歌姫のソロだからいいとして、2コーラス目に登場する全てのメンバーによる大合唱を聴かせてもらおうと、なんか怪しい。

一見、歌声がまとまつていて、とても素晴らしいコーラスっぽい雰囲気は出てはいるものの、何か？誰か？ごまかしている。そこで、アンブに繋いでリバーブを掛けたマイクを用ひて、一人ずつ前に出て歌つてもらおうと何たることだあ。

ソロで1コーラスを歌う歌姫役達以外で、正しい歌詞で歌うメンバーは誰もいない。なかには完全に作詞をしてしまひ、オリジナルの歌詞よ何処へ…つてメンバーもいたので、今一度キチンと歌詞を確認しつつ、きっちり歌うようにダメを出す。

その歌の訓練の次にダンスの訓練、そして私が芯となる殺陣の訓練をヒシツとやつたけれど、まだまだ…。

ダンスは、メインの二人の動きをちゃんと固めなきゃいけないし、殺陣に関しては、すぐに私の息が上がつてしまうので、来年の2月に照準を合せて、有酸素運動の量を増やして持久力を付け、足を膝を鍛えるのが私の最大の課題。

8月からは「久美・美容室物語 板橋公演」の稽古が始まり、「人生芸夢」の稽古は暫くお休みとなる。

そうなるもまた歌詞を忘れるかもしれないし、ダンスも殺陣もやらなきゃ戻つてしまうので、発声練習代わりに「夢の通り道」を歌ひ、ウォーミングアップではダンスと殺陣をやらなきゃいけないかもしれないね。

まだまだ課題の多き、劇団ふぁんハウスであります。